

主な出来事

【内政】

- ボンゴ大統領による国民向け年頭挨拶
- イソゼ・ンゴンデ内閣の一部改造
- 公金横領の疑いによる元閣僚の逮捕
- 憲法裁判所の開会式の開催

【外政】

- ボンゴ大統領によるガーナ新大統領就任式出席
- ボンゴ大統領による第27回仏・アフリカ・サミット出席
- ボンゴ大統領による第28回AU総会出席

【経済】

- BADによるガボン経済・財政改革プログラム支援：2億ユーロ
- カーライル・グループによるシェル・ガボン油田資産の購入
- 中国国家開発銀行によるBDEAC融資：4,000万ユーロ

【内政】

1 ボンゴ大統領による国民向け年頭挨拶

新年にあたり、アリ・ボンゴ大統領は恒例の国民向け年頭演説を行い、客年の大統領選挙を振り返り、国民連帯・社会的融和に向け、国民に団結を呼びかけた。また、1月14日から当地にて開催されるアフリカ・ネーションズ・カップのホスト国として、大会成功に向けて国民に協力を呼びかけた。（3日付UN）

2 CLR副幹事長による次期国民議会選挙に向けた包摂的国民対話の呼びかけ

6日、自由な改革者のための中道党（CLR）副幹事長は、次期国民議会選挙に向け、全ての関係者に対して包摂的な国民対話に参加するよう呼びかけた。（9日付UN）

3 イソゼ・ンゴンデ内閣の一部改造

9日、アリ・ボンゴ大統領はイソゼ・ンゴンデ内閣（2016年10月2日組閣）の一部改造を発表し、新たにパスカル・フアングニ・アンブルエ石油・炭化水素大臣、エドガール・アニセ・ムブンブ・ミヤク予算副大臣兼手当資金調達担当が就任した。（10日付UN）

4 オイエム及びポールジャンティ・スタジアムの竣工式の開催

9日、アリ・ボンゴ大統領は、オイエム及びポールジャンティの複合スポーツスタジアムの竣工式に出席した。（10日付UN）

5 外務省による国際約束の実施に係るセミナーの開催

11日、ガボン外務省は、国際法・条約の実施に係るセミナーを開催し、国際約束・条約の実施に向けた他部局との協力、条約の批准手続き、国際条約締結交渉における外務省の

役割等ついて協議が行われた。(12日付UN)

6 公金横領の疑いによる元閣僚の逮捕

9日の内閣改造に伴い、アリ・ボンゴ大統領によって解任されたングブ前石油・炭化水素大臣は公金横領の疑いを理由に、12日からリーブルビル刑務所に勾留された。また、2015年まで経済大臣を務めたンガンビア氏も、5,000億CFAフラン(約1,000億円)を横領した疑いで、10日リーブルビル刑務所に抑留された。(11日付UN, 11日付GR)

7 第31回アフリカ・ネーションズ・カップの開会式の開催

14日、アリ・ボンゴ大統領は、ジョゼ・マリオ・ヴァス・ギニア・ビスサウ大統領、イッサ・ハヤトウ・アフリカサッカー連盟会長臨席の下、第31回アフリカ・ネーションズ・カップの開会式に出席した。(16日付UN)

8 憲法裁判所の開会式の開催

26日、憲法裁判所にて開会式が開かれ、マリー・マドレーヌ・ムボランツオ憲法裁判所長官は国内の平和・安定に向けた法の強化を呼びかけ、客年の大統領選挙の異議申立て時の憲法裁判所に対する批判、脅しに対する遺憾の意を表明した。(27日付UN)

9 イソゼ・ンゴンデ首相による100日計画に係る報告書の提出

25日、イソゼ・ンゴンデ首相はアリ・ボンゴ大統領に対し、政治・経済・社会を柱とする100日計画に係る報告書を提出した。同計画には政治、経済、社会及びスポーツ分野に亘る172の施策の実施状況が記載されており、同報告書によれば36の施策が実現され、120の施策が実施段階であり、16の施策は未実施となっている。(27日付UN)

10 ジャン・ピン側からの国連監視下での政治対話開催の要求

客年12月に実施されたジャン・ピンによる政治対話に続いて、28日、ジャン・ピン陣営は、国連監視のもとでの政治対話の実施を要求し、ビリ・ビ・ンゼ政府報道官は記者会見において、同国56の政党のうち52政党が右対話に賛成の立場であると発表した。(30日付RFI)

【外政】

1 ボンゴ大統領によるガーナ新大統領就任式出席

7日、アリ・ボンゴ大統領は、アクフォ＝アドゥ大統領就任式のためガーナを訪問した。(9日付UN)

2 ボンゴ大統領による第27回仏・アフリカ・サミット出席

13日、アリ・ボンゴ大統領はマリを訪問し、「パートナーシップ・平和・創発のために」をテーマに掲げた第27回仏・アフリカ・サミットに出席した。(16日付UN)

3 ボンゴ大統領による第28回AU総会出席

28—31日、アリ・ボンゴ大統領は第28回AU総会に出席するため、アディスアベバを訪問した。総会のマージンにて、アリ・ボンゴ大統領は、議長として気候変動に係る政府首脳協議に出席した。(31日付, 2月1日付UN)

【経済】

1 税務局の新設

6日、イモンゴ・タタガニ経済・計画・開発計画大臣は、アリ・ボンゴ大統領指示のもと、税関・間接税部局及び税務総局に対して、税収増額を目的とした税務局の新設を発表した。（8日付GR，9日付UN）

2 自動車保険及び移動の自由に係る第20回CEMACキヤルト・ローズ協議会合の開催

9-10日、リーブルビルにおいて、自動車保険及び移動の自由に係る第20回中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)・キヤルト・ローズ(carte rose)協議会合が開催された。同カードにより、越境車両への保険適用が可能となるほか、CEMAC域内での車両移動の自由が実現される。（10日付UN）

3 BADによるガボン経済・財政改革プログラム支援:2億ユーロ

11日、アフリカ開発銀行(BAD)は、経済成長、公金管理のビジビリティ強化、経済構造改革を目的としたガボン経済・財政改革プログラムに対する2億ユーロの融資を発表した。（10日付UN）

4 ECCAS域内自由貿易キャンペーンの開催

12日、リーブルビル商工会議所において、中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS/CEEAC)域内自由貿易に係るキャンペーンが開催され、ECCAS自由貿易圏における経済統合の課題について意見交換が行われた。（13日付UN，12日付GR）

5 ギニア・ビサウ大統領によるンコク経済特区訪問

15日、アリ・ボンゴ大統領及びジョゼ・マリオ・ヴァス・ギニア・ビサウ大統領は、ンコク経済特区を視察した。（16日付UN）

6 カーライル・グループによるシェル・ガボン油田資産の購入

英蘭資本のシェル・ガボンは、60年に亘る当地活動を終えてガボン撤退を決め、米カーライル・グループに対して油田資産を売却した。（18日付GR）

7 中国国家開発銀行によるBDEAC融資:4,000万ユーロ

13日、中部アフリカ諸国開発銀行(BDEAC)は、客年12月北京において署名された総額4,000万ユーロの中国国家開発銀行(CDB)及びBDEACとの融資協定を公表した。同協定はCEMAC域内民間部門の中小企業支援を目的としている。（18日付GR）

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコ・ノール紙)